

報告事項3. 2022年度事業計画

1. 循環器学の研究及び振興を目的とする事業

(1) 研究会・学術講演会の開催事業

1. 第87回日本循環器学会学術集会 (JCS2023)

- ① 会期：2023年3月10日(金)～12日(日)
会長：筒井 裕之(九州大学大学院医学研究
院 循環器内科学)
会場：福岡国際会議場, 福岡サンパレス,
マリンメッセ福岡
テーマ：New Challenge with Next
Generation
- ② プログラム
 - ・一般演題
(口述, ポスター, Featured Research
Session)
 - ・美甘レクチャー
 - ・真下記念講演
 - ・特別講演
 - ・Opening session
 - ・会長講演
 - ・代表理事講演
 - ・プレナリーセッション
 - ・シンポジウム
 - ・会長特別企画
 - ・ジョイントシンポジウム
(AHA, ACC, ESC, CSC, KSC,
APSC)
 - ・ラウンドテーブルディスカッション
 - ・トピック
 - ・コントロールバーシー
 - ・ミート・ザ・エキスパート
 - ・モーニングレクチャー
 - ・Late Breaking Clinical Trials
 - ・Late Breaking Cohort Studies
 - ・循環器教育セッション
 - ・日本心臓財団佐藤賞記念講演
 - ・2021年度採択医師臨床研究助成およびメ
ディカルスタッフ研究助成報告
 - ・審査講演会
 - YIA Clinical research部門審査講演
 - YIA Basic research部門審査講演
 - 国際留学生YIA審査講演
 - International YIA Basic Research
Section
 - International YIA Clinical Research
Section
 - コメディカル賞審査講演会
 - ・ガイドラインに学ぶ
 - ・各委員会セッション・セミナー
 - 海外留学ネットワークングセミナー
 - 国際名誉会員セッション

留学支援助成報告会
禁煙推進セミナー
日本循環器学会蘇生科学シンポジウム
脳卒中と循環器病克服5カ年計画
シンポジウム
心不全療養指導士
ダイバーシティ推進委員会

- ・倫理に関する講演会
 - ・医療安全に関する講演会
 - ・Circulation Journal Award Session
 - ・CJ/EHJ Joint Session
 - ・チーム医療セッション
(一般演題, 教育講演, シンポジウム)
 - ・サテライトセミナー(モーニングセミナー,
ランチョンセミナー, ファイアサイ
ドセミナー)
 - ・機器・書籍展示
- ③ プレレジストレーション
学術集会参加者向けに, 参加登録, 教育セ
ッション, ランチョンセミナー・ファイア
サイドセミナーのプレレジストレーション
を行う。
 - ④ 印刷物・製作物
第87回学術集会関連の印刷物・制作物とし
て, プログラム集, 電子抄録アプリ, 教育
セッションテキスト, 企業展示ガイドブッ
ク, ピンバッジ, 英文パンフレットを製作
する。
 - ⑤ My Abstracts
演題抄録・チーム医療セッション抄録・共
催セミナー抄録を検索し, 必要な演題の抄
録だけを収録したオリジナル抄録集や日程
表が作成できるサービスをWEB版とアプ
リ版で行う。
 - ⑥ トラベルグラント
海外からの演題採択者への補助として筆頭
著者にトラベルグラントを支給する。支給
金額は, アジア近隣諸国は5万円, その他
の国は10万円とする。
 - ⑦ 発表データプレエントリー
学術集会発表スライドを会期前にWEBサ
イトで事前アップロードするための「発表
データプレエントリーシステム」を公開す
る。
 - ⑧ 託児室
学術集会会期中に参加者に対して英語対応
可能な託児室を設置する。
 - ⑨ 日本循環器学会ブースの出展
第87回学術集会の期間中, 展示会場にて学
会活動紹介のためのブースを出展する。
 - ⑩ 学会賞

以下の賞に関して、受賞者を決定する。

第48回日本心臓財団佐藤賞
第40回YIA Clinical research部門審査講演
第40回YIA Basic research部門審査講演
第31回CPIS賞
第21回国際留学生Young Investigators Award
第2回International YIA Basic Research Section
第2回International YIA Clinical Research Section
Circulation Journal Awards for Volume 86, 2022
Best Reviewers Award for 2022
第18回心臓血管外科賞
第18回小児循環器賞
第16回女性研究者奨励賞
第13回コメディカル賞
日本心臓財団・日本循環器学会2022年「心臓」賞

2. 第6回基礎研究フォーラム (JCS Council Forum on BCVR)

- ① 会期：2022年12月16日(金)～17日(土)
会長：塩島 一郎(関西医科大学 内科学 第二講座 教授)
会場：ステーションコンファレンス東京
メインテーマ：Enjoy Your Science and Empower Cardiovascular Medicine
- ② プログラム：作成中

3. 日本循環器学会地方会

- ① 第127回北海道地方会
会期：2022年6月25日(土)
会場：北海道大学学術交流会館(ハイブリッド開催)
会長：東 信良(旭川医科大学 外科学講座 血管・呼吸・腫瘍病態外科学分野)
- ② 第128回北海道地方会
会期：2022年11月26日(土)
会場：未定
会長：川原田修義(札幌医科大学医学部 心臓血管外科学講座)
- ③ 第174回東北地方会
会期：2022年6月4日(土)
会場：Web開催
会長：渡邊 博之(秋田大学循環器内科学)
- ④ 第175回東北地方会
会期：2022年12月3日(土)
会場：国際センター(仙台)
- 会長：小丸 達也(東北医科薬科大学 内科学第一(循環器内科))
- ⑤ 第264回関東甲信越地方会
会期：2022年5月30日(月)～6月4日(土)
会場：Web開催
会長：村松 俊裕(埼玉医科大学国際医療センター 心臓内科)
- ⑥ 第265回関東甲信越地方会
会期：2022年9月3日(土)
会場：ステーションコンファレンス東京
会長：丹野 郁(昭和大学江東豊洲病院 循環器内科)
- ⑦ 第266回関東甲信越地方会
会期：2022年12月10日(土)
会場：ステーションコンファレンス東京
会長：鈴木 誠(国家公務員共済組合連合会 横浜南共済病院 循環器内科)
- ⑧ 第267回関東甲信越地方会
会期：2023年2月25日(土)
会場：ステーションコンファレンス東京
会長：新家 俊郎(昭和大学 内科学講座 循環器内科学部門)
- ⑨ 第159回東海地方会
会期：2022年6月4日(土)
会場：三重県医師会館
会長：土肥 薫(三重大学大学院医学系 研究科 循環器・腎臓内科学)
- ⑩ 第144回北陸地方会
会期：2022年6月25日(土)
会場：金沢大学 十全講堂・教育棟
会長：荒木 勉(石川県済生会金沢病院 内科)
- ⑪ 第160回東海・第145回北陸合同地方会
会期：2022年10月15日(土)・10月16日(日)
会場：金沢勤労者プラザ
会長：高村 雅之(金沢大学医薬保健研究域医学系 循環器内科学分野)
- ⑫ 第133回近畿地方会
会期：2022年6月18日(土)
会場：Web開催
会長：城谷 学(近畿大学奈良病院 循環器内科)
- ⑬ 第134回近畿地方会
会期：2022年12月10日(土)
会場：大阪国際会議場
会長：泉 知里(国立循環器病研究センター 心臓血管内科学部門心不全科)
- ⑭ 第121回中国地方会
会期：2022年11月26日(土)

会場：KDDI維新ホール(山口市)
会長：小野 史朗(山口県済生会山口総合
病院 循環器内科)

- ⑮ 第121回四国地方会
会期：2022年12月3日(土)
会場：高知県民文化ホール
会長：山本 克人(高知医療センター 循
環器内科)
- ⑯ 第120回中国・四国合同地方会
会期：2022年5月28日(土)～29日(日)
会場：広島国際会議場
会長：高橋 信也(広島大学 外科学(心臓
血管外科))
- ⑰ 第132回九州地方会
会期：2022年6月25日(土)
会場：Web開催
会長：宮本 伸二(大分大学医学部 心臓血
管外科)
- ⑱ 第133回九州地方会
会期：2022年12月3日(土)
会場：久留米シティプラザ(ハイブリッド
開催)
会長：甲斐 久史(久留米大学医療センタ
ー 循環器内科)
廣岡 良隆(国際医療福祉大学大学院
／高木病院 高血圧・心
不全センター長)

4. 地方会抄録検索システム

地方会症録オンライン検索システム「症例くん」
に、過去の地方会データを登録する。

(2) 学会学術誌「Circulation Journal」「Circulation Reports」の刊行事業

- ① 『Circulation Journal』刊行(2022年度刊行：
Vol.86 No.5 - Vol.87 No.4)
完全オンライン公開にて刊行事業を行う。
「Focus on issue」として毎号にテーマを
設け、それに沿ったReview Articleや原著
論文を掲載、表紙には各号インパクトのある
図と数本の論文ショートタイトルを載せ、
読者の関心を惹くデザインとする。また
当会作成ガイドラインの英語版や学会賞
受賞者の紹介、学術集会レポートの掲載
など、学会のFlagship Journalとしての
役割を果たしていく。
- ② 『Circulation Reports』刊行(2022年度刊行：
Vol.4 No.4 - Vol.5 No.3)
完全オンライン公開にて刊行事業を行う。
Circulation Reports独自の論文種別である
Brief Report, Statement/Opinion,
Protocol Paperをはじめとした新規投稿
論文に加え、Circulation JournalのSister

Journalとして、同誌で惜しくも掲載に
至らなかったものの質の高い論文をTransfer
制度で受け付ける。

- ③ 質の向上のための取り組み
Circulation Journalは、Impact Factorの
向上を目指すためSister JournalのCirculation
Reportsのみならず、日本循環器連合加盟
学会の英文誌と連携していく。また、ガイ
ドライン部会と連携して当会で作成する
ガイドラインの日本語版と可能な限り同時
公開で英語版を掲載する。Circulation
Reportsは、刊行から数年の若いジャー
ナルのため、投稿数を増やすため広報活
動を継続していくとともに、投稿から採
択、公開までの査読や編集プロセスの迅
速性を特色として打ち出していく。両誌
共通事項として、掲載論文をより広い
ターゲットに周知するため、学会News
Mailで論文リンク付きの目次一覧を送
信、各号刊行日に表紙や目次の情報を
学会公式Twitterを用いてリアルタイム
で紹介する他、情報広報部会と連携し
著者から提供される掲載論文のサマ
リーについても公式Twitterで案内して
いく。
- ④ 図表の二次使用に関する許諾
Circulation Journal, Circulation Reports
両誌掲載論文の図表に関し、営利目的
の二次使用申請を受け付け、許諾料を
申し付ける。非営利目的の使用につ
いては、CCライセンスに則り、出典元
を明示し改変を行わないことを条件
に、申請不要かつ無償で許諾する。

(3) 学術研究助成事業

1. ガイドライン事業

- ① ガイドライン誌発刊
 - ・2021-2022年度年度活動ガイドライン(2022
年度発表)
 - 1) 循環器領域における睡眠呼吸障害の診
断・治療に関するガイドライン
(班長：葛西隆敏)
 - 2) 急性および慢性心筋炎の診断・治療に
関するガイドライン(班長：永井利幸)
 - 3) 冠動脈疾患の一次予防に関する診療ガ
イドライン(班長：藤吉 朗)
 - ・2022-2023年度年度活動ガイドライン(2023
年度発表)
 - 1) 心臓血管疾患における遺伝学的検査と
遺伝カウンセリングに関するガイドラ
イン(班長：今井 靖)
 - 2) 多様性に配慮した循環器診療ガイドラ
イン(班長：塚田(哲翁)弥生)

- ② 英訳版
- 1) 2020年改訂版 大動脈瘤・大動脈解離診療ガイドライン(班長：萩野 均)
 - 2) 2021年改訂版 循環器診療における放射線被ばくに関するガイドライン(班長：上妻 謙)
 - 3) 2021年改訂版 心血管疾患におけるリハビリテーションに関するガイドライン(班長：牧田 茂)
 - 4) 2021年改訂版 重症心不全に対する植込型補助人工心臓治療ガイドライン(班長：小野 稔/山口 修)
 - 5) 2021年改訂版 循環器超音波検査の適応と判読ガイドライン(班長：大手信之)
 - 6) 2022年改訂版 不整脈の診断とリスク評価に関するガイドライン(班長：高瀬凡平)
 - 7) 2022年改訂版 非心臓手術における合併心疾患の評価と管理に関するガイドライン(班長：平岡栄治)
 - 8) 2022年改訂版 末梢動脈疾患ガイドライン(班長：東 信良)
 - 9) 2022年改訂版 先天性心疾患術後遠隔期の管理・侵襲的治療に関するガイドライン(班長：大内秀雄/河田政明)
 - 10) 循環器領域における睡眠呼吸障害の診断・治療に関するガイドライン(班長：葛西隆敏)
 - 11) 急性および慢性心筋炎の診断・治療に関するガイドライン(班長：永井利幸)
 - 12) 冠動脈疾患の一次予防に関する診療ガイドライン(班長：藤吉 朗)
- ③ ガイドラインフォーカスアップデート発刊
- 1) 2023年ガイドラインフォーカスアップデート版 冠攣縮性狭心症の診断と治療(班長：掃本誠治)
 - 2) 2023年ガイドラインフォーカスアップデート版 PCPS/ECMO/IMPELLAの適応・操作(班長：西村 隆)
- ④ ガイドブック発刊
- 1) 「日本循環器学会 安定冠動脈疾患の診断と治療ガイドブック」
・内容：2022年発表「2022年JCSガイドラインフォーカスアップデート版 安定冠動脈疾患の診断と治療」
- ⑤ 図表の転載申請の許諾
営利目的の制作物への図表転載申請を受け付け、転載許諾料を申し付ける。(※但し医学書については無料とする。)

2. 基礎研究、医師臨床研究助成およびメディカルスタッフ(医師の除く医療専門職)研究助成
2016年12月16日に制定された脳卒中と循環器病克服5ヶ年計画に基づき、5戦略の1つとして策定された人材育成を強化するために今後活躍が期待される若手基礎研究者5名に「基礎研究助成」、若手医師研究者最大3名に「医師臨床研究助成」とメディカルスタッフ最大3名に「メディカルスタッフ研究助成」を贈呈する。

3. 留学支援助成

脳卒中と循環器病克服5ヶ年計画の5戦略の1つとして策定された「人材育成」を強化するため、海外留学する若手研究者の経済的支援を通じて、循環器領域の進歩に寄与する研究の奨励と、今後活躍される若手研究者の育成を目的として、1件の留学支援助成を行う。

(4) 登録・解析事業

1. 臨床効果データベース

当会と自治医科大学において共同研究契約を締結の上、本事業を開始する。

2. 循環器疾患診療実態調査(JROAD)

- ① データ収集を行う。
- ② DPCデータを用いた心疾患における医療の質に関する事業
JROAD-DPCの運用を行う。研修・研修関連施設のDPC病院を中心にDPCデータの収集を行う。参加施設の増加、調査項目の見直しも検討する。
- ③ 公募事業
JROAD, JROAD-DPCデータを利用する研究公募を行い、データ提供の対価を研究者より受領する。また産学連携研究の公募も行う。

3. BPA施設認定レジストリー登録

BPAの適応と実施に関するステートメントに沿って、認定施設、実施医、指導医の基準策定が関連学会との合意を受け、レジストリー登録を行う。

4. ウツタインレジストリー

消防庁救急蘇生統計(ウツタイン調査)データの検証を行い、蘇生科学と救急心血管治療に対する研究を世界に向け、論文・発表を展開して行く。

5. MitraClipレジストリー(J-Mitra)

MitraClip適正指針に沿って施設認定を行い、MitraClip適正使用のためのレジストリー登録を行う。

6. Watchmanレジストリ (J-LAAO)

Watchman適正指針に沿って施設認定を行い、Watchman適正使用のためのレジストリ登録を行う。

7. ビンダケル使用症例レジストリ

トランスサイレチン型心アミロイドーシス症例に対するビンダケル適性投与のための施設要件、医師要件に関するステートメントに沿って、認定施設、実施医の審査を行い、レジストリ登録を行う。

8. 胸痛レジストリ

胸痛の症状を網羅的に取得するレジストリの実現性の確認を行うパイロット研究を行う。

(5) 交流事業

1. 国内交流

- ① 「日本循環器連合」事業として、各学会とリーダーシップミーティングを開催し議論を行う。
- ② ICD-CRT研修制度協議会の運営を行う。
- ③ 日本糖尿病学会と連携活動を予防委員会内にワーキンググループにおいて行う。
- ④ ステントグラフト実施基準管理委員会へ、実施基準に関する協議会(11学会)の1学会として参加する。
- ⑤ 循環器系のコメディカル関係学会とのジョイントセッションを双方の学術大会で開催する。
- ⑥ 医療放射線防護連絡協議会に理事を派遣する。

2. 国際交流

- ① 海外学会(AHA, ESC)へブース出展(あるいはデジタルブース出展)を行う。
- ② 各海外団体(ACC, AHA, CSC, ESC, KSC, APSC)とのジョイントシンポジウムを開催し、協議の機会を設け、関係を深める。
- ③ 国際留学生YIA及びInternational YIAの公募を行い、第87回学術集会で審査講演を行う。
- ④ JIYC(JCS International Young Community)が中心となり、海外留学ネットワークワーキングセミナーを企画し、留学を希望する若手医師の交流の場を設ける。そのほか、若手オリジナルセッション、ガイドライン症例セッションを企画する。
- ⑤ アジアからの学術集会参加者が増えるよう、各団体への広報を強化する。

(6) 循環器学用語の検討

- ① 『循環器学用語集(第4版)』の更新昨年度完成、公開した用語集(第4版)およびこの英語版について、利用者から寄せられる意見や関連学会からの要望等を加味し随時検討、更新していく。
- ② 国際疾病分類(ICD)改訂に関わる対応WHOおよび厚生労働省からの依頼を受け、「ICD-11」における循環器用語の対訳作業やICD専門委員会等への委員派遣を行う。

2. 循環器医師の教育及び専門性の向上を目的とする事業

(1) 循環器専門医事業

1. 専門医制度事業

- ① 第33回循環器専門医資格認定試験を実施する。
筆記試験日：2022年10月2日(日)
会場：(仙台), (東京), (名古屋), (大阪), (福岡)
- ② 循環器専門医資格の更新審査を行う(対象2,907名予定)。
- ③ 循環器専門医研修施設・研修関連施設の認定審査を行う。
- ④ 『循環器専門医』誌の発刊ならびに今後の発刊についての検討を行う。

2. 新専門医制度に伴う事業

- ① 症例登録評価システム(循環器J-OSLER)の運営を行う。
- ② 新専門医制度に対応した施設指定審査および指定施設の公表を行う。
- ③ 第1回循環器内科専門医資格認定試験を実施する。
筆記試験日：2022年10月2日(日)
会場：(仙台), (東京), (名古屋), (大阪), (福岡)
- ④ 制度移行期の扱い、認定更新に関する制度の構築を行う。
- ⑤ 関連する領域と連動した循環器領域における制度の構築・運営を行う。

(2) 循環器医師及びその他の医療関連従事者の教育・育成事業

1. セミナー

- ① 循環器専門医を志す研修医のためのWebセミナー
循環器疾患についての知識と情報を提供し、循環器診療の魅力を伝え将来循環器疾患診療に加わる医師を増やすことを目標とし実施する。全国の医学部医学科の学生を

ターゲットとに初期・後期研修医や、すでに現場で活躍する医師にとっても知識の整理に役立つ内容のコンテンツとする。

- ② Webによる臨床研究・統計教育プログラム主に若手の循環器内科医を対象とした臨床研究デザインや医療統計に関するWebによる教育コンテンツを提供する。
- ③ JCS-ITC(日本循環器学会国際トレーニングセンター)AHA心肺蘇生法コース
新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら、次の各講習会を全国で開催する。
 - ・AHA BLSプロバイダーコース
 - ・AHA ACLSプロバイダーコース
 - ・AHA ACLS EPプロバイダーコース
 - ・AHAハートセイバーCPR AEDコースまた、新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら、インストラクター養成のため次の各講習会を開催する。
 - ・AHAコアインストラクターコース
 - ・AHA BLSインストラクターコース
 - ・AHA ACLSインストラクターコース
 - ・AHAハートセイバーインストラクターコース
 - ・AHA ACLS EP インストラクターコース
- ④ PCASセミナー
新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、オンラインによる開催方法を検討していく。
- ⑤ コメディカルセミナー
メディカルプロフェSSIONナルを対象とした教育セミナーをオンラインにて開催する。

2. 教材

- ① 教育研修e-ラーニングの整備・運営
会員の知識・技能の向上を目的に、教育研修e-ラーニングのコンテンツを充実させる。
- ② 学術集会DVD, 教育セッションDVDの製作・販売
第86回学術集会で開催されたセッションを、より多くの医師が視聴研修することを目的に、セッションを収録したDVDの製作・販売を行う。
- ③ 循環器専門医を志す研修医のための卒後セミナーの見直し
従来の卒後セミナーに代わる、e-Learningによる「5分でわかる循環器ベストティーチャーシリーズ」の企画内容の検討を行う。循環器疾患の知識と情報を提供し、循環器診療の魅力を伝え、循環器専門医を志す研修医の増加に繋がるような魅力的なコンテンツを作成する。

- ④ 「臨床研究・統計教育プログラム」の充実
これまでの統計合宿に代わる、新たなオンデマンド型・ライブ配信による「臨床研究・統計教育プログラム」の講座数の増加等、内容の充実を行う。
- ⑤ 心不全療養指導士認定試験の学習用にeラーニングと心不全療養指導士認定試験ガイドブック第2版を発行。

3. 心不全療養指導士資格制度

第3回心不全療養指導士認定試験を実施する。
筆記試験日：2022年12月18日(日)
会場：全国都道府県での開催を予定

4. ダイバーシティ推進に関する事業

- ① 多様な世代、職種等が交流し、互いの理解、進歩を考える場を設け、発展していくための活動を行う。
- ② Travel Award for Women Cardiologists
本会の女性会員のキャリア支援を目的として、国際学会(ESC, AHA)において女性筆頭者が発表する優秀演題を顕彰する。
- ③ 女性循環器医コンソーシアム(JCS-JJC)部会
女性医師のリーダーシップ開発支援と就労継続支援、海外女性循環器医団体との連携を行う。
- ④ U-40部会
学生・研修医に対する循環器領域への勧誘活動や若手医師のネットワーク構築を実現すべく、支部への活動支援を行う。
- ⑤ 特定看護師養成促進ワーキンググループ
働き方改革・タスクシェア実現に向けて、特定看護師・診療看護師の活躍を推進するための施策検討を行う。

3. 循環器診療の社会への普及啓発及び社会還元を目的とする事業

(1) 心臓移植等にかかる事業

1. 心臓移植に関する事業

- ① 心臓移植に関連する協議会等と諸問題について協議し、必要な要望などを関係各所に提出する。
- ② 心臓移植・心肺同時移植に関する適応検討及び、植込型VAD事後検証を行う。
- ③ 自施設内適応判定により移植された症例の事後検証を行う。
- ④ 心臓移植実施施設間の問題点、今後のあり方について協議を行う。
- ⑤ 医療従事者に対してのドナーアクションを行う。
- ⑥ 心臓移植申請症例データベースの構築に向けて検討を行う。

- ⑦ 心臓移植並びに心肺同時移植に係る審議（実施施設の認定審査を含む）を行う「心臓移植・心肺同時移植関連学会協議会」の事務局運営を行う。

(2) 広報・啓発事業

1. プレス向け

- ① 記者発表の開催
必要な事業内容についてプレス向けに記者発表を行っていく。

2. 市民向け

- ① 第87回学術集會市民公開講座（会長企画）
- ② 心肺蘇生法市民公開講座
学術集會、地方会で一般市民を対象とした心肺蘇生法の講習会を開催について検討する。
- ③ 予防啓発動画作成・YouTubeでの配信による啓発活動
禁煙推進キャラクター「すわん君」をインタビュアーとして、循環器医師に各分野の予防啓発に関する対談動画を作成、さらに市民向けの予防啓発関連動画を作成し、YouTubeへ投稿する。また、ライブ配信において、視聴者へ多くの循環器にかかわる病気の原因や予防策を提示し、多くの視聴者が気軽に予防啓発を学ぶ機会を作っていく活動を行う。
- ④ 禁煙啓発キャラクターを使用した禁煙啓発活動
各地の市民向けイベントに禁煙相談ブースを設置し、喫煙者への禁煙啓発を促す。また、本会の禁煙推進キャラクター「すわん君」のtwitterを通じて本会の禁煙啓発活動を広く周知する。
- ⑤ 禁煙教材の作成
禁煙パスポート、DVD、ポスターの制作、販売を行う。
- ⑥ Twitterの活用
広くSNSを通じて情報を拡散するために、Twitterを活用した広報を行う。
CR、CJからの論文紹介や地方会、学術集會の中の演題内容やインタビュー投稿などを即時行うことで、常に新鮮な情報を一般、医療従事者、会員問わず国内外に発信する。

3. 会員向け

- ① 学会Webサイトの運営
学会公式Webサイトにおいて、継続して学会からの情報発信を行う。また、リニューアル後の精査を実施し英語版サイトの充実を図る。
- ② ニュースメールの配信

会員への情報サービスとして学会からの各種お知らせを「JCS News Letter」として配信する。

- ③ 会員ポータルサイトの運営
会員が自身の登録情報の更新や年会費等支払う事のできるポータルサイトを運用する。

4. 官公庁等への働きかけ

- ① 診療報酬に関する調査
循環器分野における診療報酬の実態を調査するため、関連学会と協力し診療報酬改定後の影響について調査を行い、要望等を行う。
- ② 循環器救急の実情に関するアンケート調査
診療報酬改定に伴う救急医療への影響を調査する。
- ③ CCU加算に対する働きかけ
心血管疾患特定集中管理料を算定出来るように、集中治療医学会と連携しながら、新設を求めて活動を行う。

(3) 社会還元事業

1. 医療事故調査制度

2015年10月から開始された「医療事故調査制度」について、本会は病院での院内調査および医療事故調査・支援センターのセンター調査への専門家の派遣を行うこととなっており、依頼があった場合は専門家を派遣する。

2. 鑑定人推薦依頼

最高裁判所からの鑑定人推薦依頼に専門家を派遣する。

3. 終末期症例登録について

救急医学会、集中治療医学会、循環器学会3学会合同で、終末期症例登録システムを構築する。

4. 循環器領域に関係する他団体業務の受託

日本循環器協会・禁煙推進学術ネットワーク・Asian Pacific Society of Cardiology (APSC)の3団体の事務局業務を受託しており、各団体の連携団体・中核団体として活動を推進する。

5. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

1. 循環器病克服5カ年計画事業

脳卒中と循環器病克服第二次5カ年計画で掲げている5年間で脳卒中・心血管病による死亡率の5%減少および健康寿命の延伸を目標を達成するために、脳卒中・心不全・血管病を重要3

疾病と定め、「人材育成」「医療体制の充実」「登録事業の促進」「予防・国民への啓発」「臨床・基礎研究の強化」の5戦略を通じて、我が国と本会の5年間の事業について実行する。

2. 大規模・中規模災害に対する対応

過去に発生した災害をモデルとして、災害発生時に本会や関係団体が取るべき対応をシミュレーションし、検討する。

3. 新会員システムの構築

会員の学会活動の利便性向上を目的とした会員ポータルサイトの改善、保守性の維持向上を目的とした事務局・会員管理システムの改修・追加を行う。演題登録システム構築を行う。

4. 医師賠償責任保険

本会の医師賠償責任保険を運用する。会員は割引価格で保険に加入でき、本会には医師賠償責任保険料の5%、総合補償保険料の3%が収益となる。

5. FJCS制度

会員の学会活動への活発な参画により本会を活性化させるため、フェロー会員の認定を行う。また、国際FJCSの認定を開始し、引き続き国際版FJCS制度では海外団体からの推薦による受付も継続する。

6. 会員への周知

会員に向けて周知すべき事項を案内するため、会告2022 No. 2～No. 4・2023 No. 1を発刊する。冊子での配布は有償とし、メール及びホームページにて会員に公開する。